

東国文化自由研究レポート



研究テーマ

鶏形埴輪が伝えた歴史

提出日 2024年 8月 26日 (月)



伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

1年 4組 29番

氏名 宮沢 心

鶏形埴輪が伝えた歴史

1 きっかけ

私達の住む群馬県は、「日本一の埴輪県」と言われるほど、古墳や埴輪で有名な県である。そこで、「私の住む伊勢崎市ではどのような古墳や埴輪が有名なのだろう」と思いインターネットで調べてみた。すると、伊勢崎市では、「復元された中では東日本最古」の鶏形埴輪が出土されたと知った。伊勢崎市で出土された鶏形埴輪には、研究者たちも驚いたそう。

私の通う学校では未来探究という活動を行っている。未来探究の一番最初の授業で市役所の方が、伊勢崎市の課題について話をしてくれた。

文化観光化の方が「伊勢崎市の課題として、伊勢崎市には、伊勢崎市といったらこれ、というものがない。」と言っていた。そこで私は、「伊勢崎市で出土された鶏形埴輪に専門家が驚いたくらいだから、それなりにほかとは違った特徴があるはずだと思った。だから、伊勢崎市と言ったら鶏形埴輪と言われるほど、鶏形埴輪のことを発信すれば、伊勢崎市が活性化されると考えた。そこで、鶏形埴輪を見つけたことによって分かった出来事や歴史を発信すればよいのではと思い、このテーマにした。

2 調査方法

(1) 赤堀歴史民俗資料館に行く

赤堀歴史民俗資料館は、赤堀茶臼山古墳から出土し初公開となる、復元された鶏形埴輪が展示されていた資料館だ。ここでは、赤堀茶臼山古墳で出土された鶏形埴輪の特徴について調べていきたい。また、鶏形埴輪の担当の方に話を聞きたい。

(2) 鶏形埴輪が伝えた歴史をピックアップする

赤堀歴史民俗資料館でわかった情報をもとに、鶏形埴輪が伝えた歴史をまとめて、伝わりやすい文章になおす。



3 調査結果

資料館に行ってみたところ、実際に鶏形埴輪の調査をしていた担当の方が鶏形埴輪について話をしてくれた。

①鶏形埴輪の発見

鶏形埴輪は、赤堀茶臼山古墳で出土された。また、赤堀茶臼山古墳から南に3キロメートル離れた釜ノ口遺跡では、鶏形埴輪の羽の破片が出土している。なぜ、離れた場所から鶏形埴輪の羽の破片が出土されたのだろうか。

それは、釜ノ口遺跡が鶏形埴輪を作った埴輪工房だからである。

釜ノ口遺跡では、過去に、赤堀茶臼山古墳から出土した家形埴輪と同じ埴輪が火災で焼かれて出土したり、家形埴輪のくり抜かれた粘土や粘土の塊が出土している。そのことから、釜ノ口遺跡には昔、赤堀茶臼山古墳の埴輪を作っていた埴輪工房があったと考えられている。



そして、釜ノ口遺跡で出土された羽の破片が、赤堀茶臼山古墳で出土された鶏形埴輪に接合した。

担当の方は、「離れた場所から出土した埴輪同士が接合することは全国でもめったにない例。同じ家形埴輪が異なる場所から出できた、というよりも、鶏形埴輪と羽の破片が接合した、という方が具体的。だから、鶏型埴輪が羽根の破片と接合したことは、釜ノ口遺跡には赤堀茶臼山古墳の埴輪を作っていた埴輪工房があった、という具体的な根拠になる。」と言っていた。

また、担当の方は鶏形埴輪の羽を接合する瞬間に立ち会ったそうで、「もう、その時はドキドキしちゃって。」とも話していた。



赤堀茶臼山古墳—東国屈指の埴輪たち—

①鶏形埴輪の発見 歴史ポイント

・赤堀茶臼古墳から出土された鶏形埴輪と釜ノ口遺跡で出土された羽の破片が接合したことにより、釜ノ口遺跡には赤堀茶臼山古墳においてある埴輪の埴輪工房があったことがわかった。

コラム1

何世紀頃の埴輪か見分ける方法



上の写真は、赤堀歴史民俗資料館に展示されている円筒埴輪の一部を拡大したものだ。これらの円筒埴輪は、それぞれ作られた時期が違う。この日は、円筒埴輪の作られた時期を見分ける方法を、担当の方に教えてもらった。

実は、右の円筒埴輪は5世紀なかば、左の円筒埴輪は6世紀頃に作られた。

写真を見ると、右の円筒埴輪は横に、左の円筒埴輪は縦に、線が引かれているのが分かる。円筒埴輪は、**線が横に引いてるか、縦に引いてあるか**で作られた時期を見分けることができる。

②鶏型埴輪の意味



鶏形埴輪には、部位によって意味がある。鶏形埴輪の作られ方によって専門家の人たちは、赤堀茶臼山古墳から出土された鶏形埴輪が、雄鶏か雌鶏かを明確にした。

(1) 雄鶏だけにある蹴爪



赤堀茶臼山古墳で出土された鶏形埴輪は、雄であることがわかった。

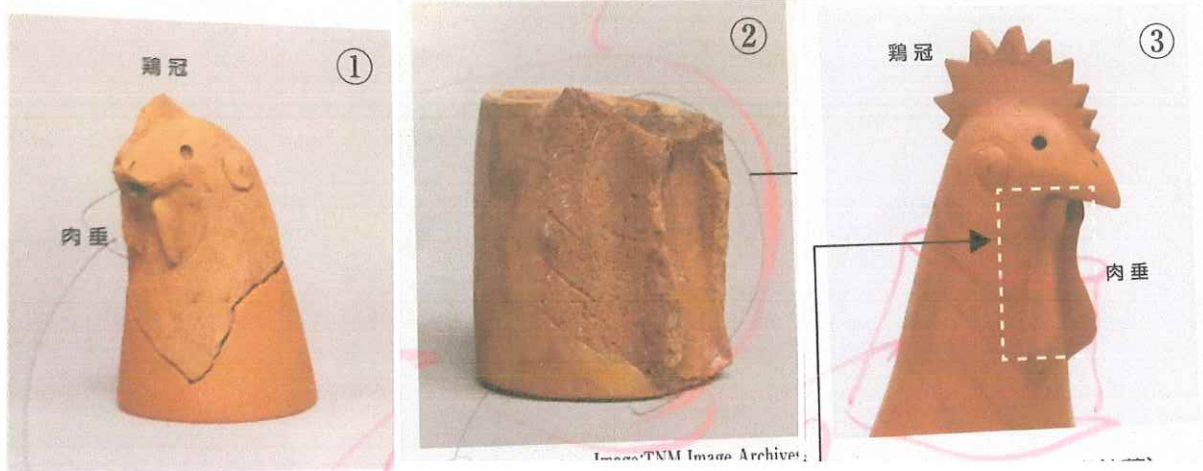
左の写真は、鶏形埴輪の足を拡大したものだ。

写真を見ると、丸く囲んであるところに出っ張りがある。この出っ張りは蹴爪といい、雄鶏だけにあるものだ。

このことから、赤堀茶臼山古墳で出土された鶏形埴輪は雄であることがわかった。

赤堀茶臼山古墳―東国屈指の埴輪たち―

(2) 鶏冠、肉垂



赤堀茶臼山古墳―東国屈指の埴輪たち―

赤堀茶臼山古墳から出土された鶏形埴輪が、雄と示すことが、蹴爪がついていたこと以外にもある。

写真①は、東京国立博物館に所蔵されている、雌鶏埴輪の頭部だ。写真②は、東京国立博物館に所蔵されている雄鶏埴輪の頸部だ。写真③は、赤堀歴史民俗資料館に所蔵されている、赤堀茶臼山古墳で出土された鶏形埴輪の頭部だ。

写真①の鶏冠と肉垂は小さい。一方で、写真②の肉垂は写真①と比べて大きく作られている。このことから、写真①は雌鶏、写真②は雄鶏だということが分かる。

赤堀茶臼山古墳で出土された鶏形埴輪は、蹴爪があったことにより雄鶏だということがわかったため、写真②が鶏形埴輪の頸部の破片の可能性のあることがわかった。

(3) 止まり木



鶏型埴輪が乗っている円筒埴輪のようなものは、止まり木だ。とまり木とは、鶏が鳴くときにつかまる木のことだ。鶏は夜、とまり木につかまって朝を知らせることから太陽を呼ぶ特別な力を備えた動物として神聖視された。

「古事記」や「日本書紀」の天岩屋戸の条では、太陽を呼ぶために鶏（長鳴鶏）が登場する。

このことから、鶏に対する意味は、埴輪と書物で共通していることが分かる。

②鶏形埴輪の意味 歴史ポイント

- ・ 蹴爪を発見したことによって、鶏形埴輪が雄であることが分かった
- ・ 赤堀茶臼山古墳で出土された鶏形埴輪の頸部は、東京国立博物館に所蔵されている鶏形埴輪の頸部の可能性が高い
- ・ 鶏は太陽を呼ぶ動物として神聖視されていて、その考え方は、「古事記」や「日本書紀」と共通している

③ヤマト王権と鶏形埴輪の関係

赤堀茶臼山古墳で出土した鶏形埴輪は、ヤマト王権の埴輪と似ている。そのため、鶏形埴輪はヤマト王権から派遣された埴輪職人たちが作った埴輪だと考えられている。

このように考えられている埴輪は、鶏形埴輪だけではなく、赤堀茶臼山古墳から出土したたくさんの埴輪にヤマト王権とのつながりがあると考えられている。また、埴輪の形だけではなく、埴輪の配置もヤマト王権に似ている。



③ヤマト王権と鶏形埴輪の関係 歴史ポイント

- ・ 赤堀茶臼山古墳から出土した埴輪は、ヤマト王権から派遣された埴輪職人たちが作った可能性が高い

コラム2

赤堀茶臼山古墳出土の埴輪

赤堀茶臼山古墳から出土した埴輪の多くが、ヤマト王権に関係していると考えられている。

① 罎型埴輪

罎型埴輪の入り口から、罎の中が見えないことに気づくだろうか。この埴輪は、祭祀に関わる埴輪と考えられている。罎の中が見えないのは、重要な儀式を見られないようにするためではないだろうか。



②家形埴輪

赤堀茶臼山古墳で、8棟出土した家形埴輪の中で唯一寄棟造りの屋根の家形埴輪。

①鶏形埴輪の発見でも伝えたとおり、埴輪工房だと考えられている釜ノ口遺跡から、同じ家形埴輪が出土した。



③椅子型埴輪

古墳頂部から出土した椅子型埴輪。椅子に座る人物の埴輪は確認されているが、椅子型埴輪は全国にも5例に過ぎない。その中でも、赤堀茶臼山古墳の椅子型埴輪は唯一背もたれを持つ。



⑤現在の鶏形埴輪



現在、鶏形埴輪は「発掘された日本列島2024」に展示されている。「発掘された日本列島2024」とは、毎年、特に注目された発掘出土資料を一堂に集め全国を巡回する文化庁主催の企画だ。

伊勢崎市からは、赤堀茶臼山古墳から出土した鶏形埴輪と、石山南古墳群の人物埴輪が4点展示される。伊勢崎市の埴輪が展示されるのは初めてだ。

今は青森県弘前市立博物館に展示されている。赤鶏歴史民俗資料館に返ってくるのは、2025年の3月くらいだと担当の方が言っていた。



石山南古墳群の人物埴輪



展示に向け梱包される鶏形埴輪



発掘された日本列島2024パンフレット

⑤現在の鶏形埴輪 歴史ポイント

・鶏形埴輪は現在、「発掘された日本列島2024」に展示されている

4 まとめ

「伊勢崎市と言ったら鶏形埴輪」と言われるためには、ピックアップした歴史ポイントを伝えれば良い。特に、鶏形埴輪が「発掘された日本列島2024」という、全国規模のイベントに展示されたことは、埴輪に詳しくない人でも驚くことだと思う。

例えば、

A:「伊勢崎市で発掘された鶏形埴輪が、発掘された日本列島2024っていうイベントに展示されたんだって。しかも、展示されたのは伊勢崎市で鶏形埴輪が初めてらしいよ。」

B:「えっ、すごいね。そんなに有名な埴輪が伊勢崎市にあったの。」

A:「うん。発掘されたのは赤堀茶臼山古墳で、、、、、、、、、、。」

こんなふうに、普段の会話でも鶏形埴輪のことを伝えられれば良いと思う。

5 感想

未来探求の話で市役所の人から教えてもらったことを、レポートでも活かすことができ、伊勢崎市のことにつなげることができて良かった。「伊勢崎市と言ったら鶏形埴輪」とたくさんのひとに思ってもらえるよう、自分から発信することを忘れないようにしたい。今回のレポート作りを活かして、他にも伊勢崎市の良さを発信していきたい。

調べていくうちに「発掘された日本列島2024」のことを知り、鶏形埴輪の他にも伊勢崎市から展示されている人物埴輪があることを知った。今回の自由研究で鶏形埴輪が展示された理由は分かったが、人物埴輪が展示された理由はまだ分かっていないので、調べてみたいとおもった。

参考文献

- ・伊勢崎市「ニワトリ」埴輪に研究者たちも注目！そのわけは
- ・初公開！鶏形埴輪－伊勢崎市
- ・古墳の鶏の埴輪、3キロ離れた工房跡で見つかった破片がぴったり接合
- ・鶏形埴輪－文化遺産オンライン
- ・赤堀茶臼山古墳－東国屈指のハニワたち－
- ・伊勢崎市の埴輪
- ・歴史いきもの図鑑
- ・赤堀茶臼山古墳へ行ってみよう
- ・発掘された日本列島2024
- ・赤堀歴史民俗資料館の出来事（令和6年度）－伊勢崎市